

同時  
通訳

# Webinar HPVワクチン

## ～積極的勧奨再開を迎えて～

Cervical Cancer Elimination-子宮頸がんの根絶のための行動をWHOは2018年に呼びかけました。子宮頸がんを排除するためには徹底的な検診とHPVワクチンの接種が求められます。日本はようやくHPVワクチンの積極的勧奨の再開を迎えることとなり、子宮頸がんの根絶に向けて大きな1歩を踏み出すこととなります。子宮頸がん検診とHPVワクチン、この両輪が動き出す日本の未来を、海外の経験から一緒に考えていきませんか。

参加無料

[日時] ▶▶▶ 2022年 3月5日(土) 17:00～19:00

### 講演 1

#### 世界におけるHPVワクチンの現状と普及

講師：Dr Paul Bloem

WHO, Department of Immunization, Vaccines and Biologicals

### 講演 2

#### オーストラリアにおけるHPVワクチンの現状と効果

講師：Prof Julia Brotherton

Australian Centre for the Prevention of Cervical Cancer,  
University of Melbourne

### 講演 3

#### 日本におけるHPVワクチンの現状と課題

講師：Dr Sharon J.B. Hanley

北海道大学環境健康科学研究教育センター

### ディスカッション

司会：小林絵里子 富山県立大学看護学部 講師

指定発言：阿南理恵（子宮頸がんサバイバー）

赤羽宏基（WHO）

鈴木幸子（埼玉県立大学）

### 申し込み

・ URL : <https://forms.gle/1w9zt2uftNarFFkG9>

・ 問い合わせ 富山県立大学 工藤里香 kudo-r@pu-toyama.ac.jp



【主催】 富山県立大学母性看護学講座 北海道大学環境健康科学研究教育センター

【共催】 一般社団法人 性と健康を考える女性専門家の会

【後援】 富山県 富山市 富山県教育委員会

科研費  
KAKENHI

\* 本講演会はJSPS科研費20H040021の助成を受けたものです。